

第 **117** 期
中間報告書

株主のみなさまへ
平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

New texture by KYOWA

共和レザー株式会社



取締役社長 宮林 克行

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

ここに当社第117期第2四半期累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)の事業内容をご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動や夏場の天候不順による個人消費の落ち込みなどがあったものの、雇用や所得環境が改善する中、引き続き緩やかな回復傾向で推移しました。

このような状況のもと、当企業グループの連結売上高は212億9千5百万円と前年同期(194億9千6百万円)に比べ9.2%の増加となりました。

利益面につきましては、連結経常利益は11億6千7百万円(前年同期連結経常利益7億2千5百万円)、連結四半期純利益は9億4千4百万円(前年同期連結四半期純利益6億4千7百万円)となりました。

当期の中間配当金につきましては、業績等の状況に鑑み、1株につき11円(前期中間配当金1株につき4円50銭)とさせていただきます、本年12月10日より支払いを開始させていただきます。今後も株主のみなさまのご期待にお応えしていきたいと考えております。

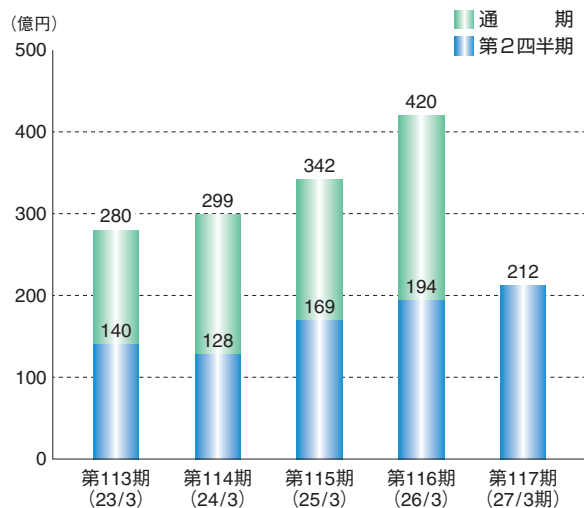
当下半年につきましては、景気が継続して緩やかに回復していくことが期待されますが、為替や株価、原油価格など不安定要素が多く、先行きの不透明感が強まってきております。

このような状況の中、当企業グループといたしましては、経済環境の変化の中でも売上および利益を維持・拡大できるよう、これまで行ってきた拡販および原価改善の活動をさらに推し進めてまいります。また、意匠・機能・環境面で高い魅力を備えた製品を開発・提供することでお客様満足の向上に努めるとともに、新領域・新顧客の開拓など将来の持続的成長に向けた取り組みを加速させ、社業の一層の発展を図ってまいります。

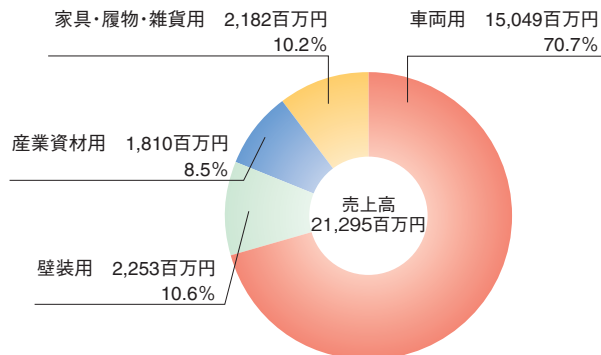
株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申しあげます。

当企業グループ売上高・利益の推移

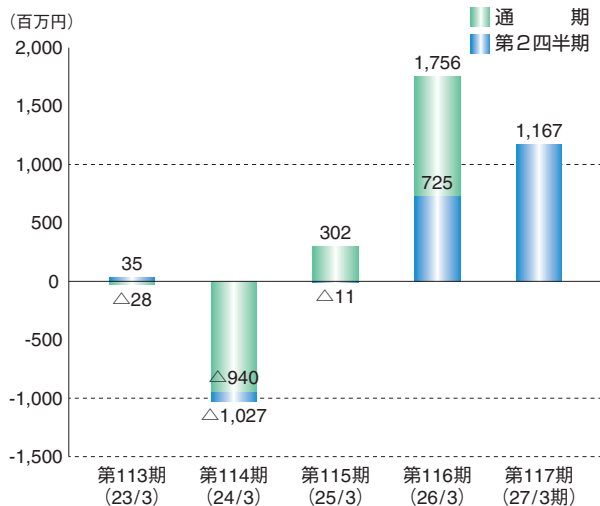
売上高の推移



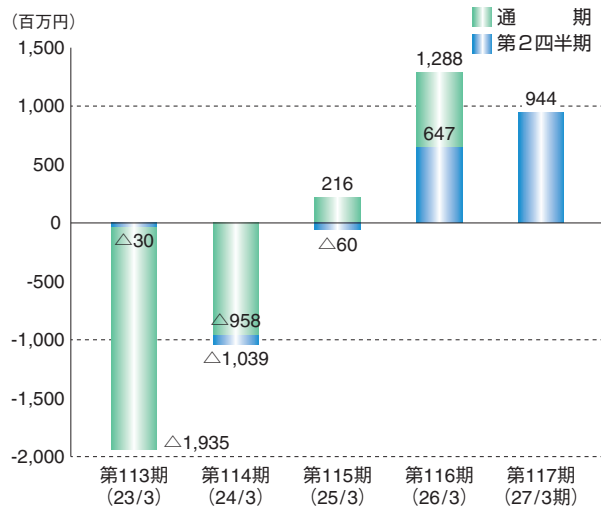
用途別売上高



経常利益の推移



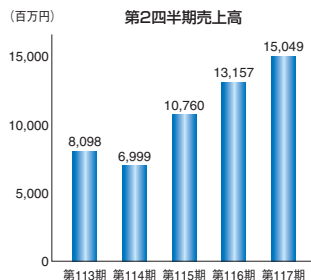
四半期（当期）純利益の推移



当企業グループの営業概況

当企業グループの製品は自動車内装材をはじめ建物内装・家具・履物・雑貨など様々な場面で活躍しています。

車両分野



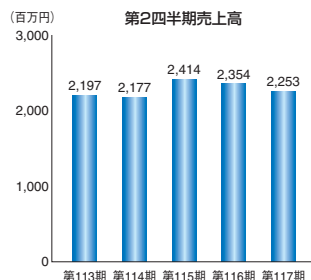
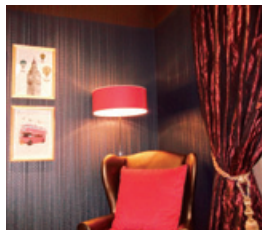
上半期につきましては、消費税増税の影響などで自動車国内生産が伸び悩む中、以前から注力してまいりましたウレタン合成皮革など、お客様のニーズにマッチさせた製品開発・供給により、売上を拡大させることができました。特に、シートメイン用表皮材は、本革や布とは異なる新たな手触り感を付与した質感などから、高級セダンやSUVに採用され拡販に大きく寄与しました。また、インパネやドア用の内装表皮材につきましても、自動車メーカー各社の新規立上げ車種に相次いで採用され、売上増に結びつきました。加えて、中国子会社

でも現地欧米系自動車メーカー向けに拡販が進み、グループ全体での売上高は150億4千9百万円と前年同期(131億5千7百万円)に比べ14.4%の大幅な増加となりました。



下半期につきましても、各社のモデルチェンジに合わせた当社提案活動が、採用拡大につながり、前期を上回る売上が見込まれております。これらの需要に対し、引き続き生産効率の向上・原価改善活動を推進し、着実に会社収益に結びつけてまいります。また、今後とも成長が期待されるウレタン合成皮革の市場においては、シート用ファブリックを扱っている繊維メーカーからの参入など競合が厳しくなっておりますが、お客様のニーズによりマッチした、競合他社の追随を許さないオンリーワン製品の開発に努め、さらなる売上拡大、収益確保を目指してまいります。

壁装分野

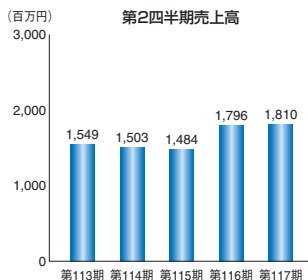
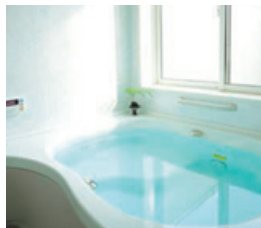


上半期につきましては、一般住宅のほか商業施設・病院向けなど幅広い用途に対応する製品の拡販に努めてまいりましたが、住宅着工件数が減少傾向で推移していることや、集

合住宅向けの普及品タイプ壁紙の販売不振により、売上高は22億5千3百万円と前年同期(23億5千4百万円)に比べ4.3%の減少となりました。しかしながら、大手壁紙問屋の新見本帳には、当社製品が多数掲載され、また、介護施設などのリフォームでも、表面強化・汚れ防止などの機能製品が採用されるなど拡販活動の成果も見え始めております。

下半期につきましては、住宅関連市場の低迷が懸念されるなど厳しい市場環境ではありますが引き続き、拡大が期待されお客様の関心が高いリフォーム向け壁紙や快適機能性壁紙の拡販活動に取り組み、売上の増加を目指してまいります。

産業資材分野



上半期につきましては、前期より取り組んでまいりました大手住宅設備メーカー向けユニットバス用銅板フィルムなどの拡販が進んだことや、集合住宅向けの合板用オレフィンフィルムの採用が決まったことなどにより、市場全体としては消費税増税の影響が見られたにもかかわらず、販売が好調であった前年同期(17億9千6百万円)を若干上回る18

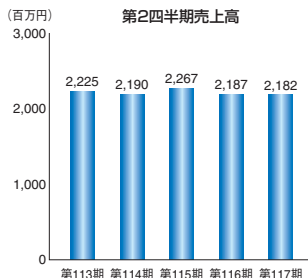
億1千万円の売上を確保できました。

下半期につきましては、大手住宅設備メーカーが消費税増税の影響を上半期以上に大きく受けると予想して

いる中、新規の拡販物件を確実に取り込むことで建材用途のフィルム減少を最小限にとどめ、海外向けの成形加飾フィルムの採用促進を働きかけてまいります。さらに機能性を持たせた製品によって、新用途への販路拡大につきましても、引き続き取り組んでまいります。



家具・履物・雑貨分野



上半期につきましては、消費税増税の影響が比較的軽微であった家具市場では、業務用物件の好調に支えられ堅調に推移したものの、履物市場では、海外安価製品の流入拡大や、ト

レンドがスニーカーなどに使われるファブリック素材に移行するなど、合成皮革製品で苦戦しました。この結果、売上高は21億8千2百万円と前年同期(21億8千7百万円)並にとどまりました。

下半期につきましては、家具市場では耐薬品対応などの高機能製品の拡販活動、雑貨市場では手帳やケースといった文具などの新用途開発に取り組み、売上の拡大に努めてまいります。また、履物市場においては、市場ニーズの高いストレッチ機能製品を提案するとともに、意匠パターンとカラーバリエーションの充実を図り、売上の挽回を目指してまいります。

連結決算の状況

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)	前会計年度 (平成26年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	22,897	23,769
固定資産	18,253	17,264
資産合計	41,151	41,034
(負債の部)		
流動負債	13,826	14,284
固定負債	3,041	2,483
負債合計	16,867	16,768
(純資産の部)		
株主資本	22,704	22,614
その他の包括利益累計額	639	708
少数株主持分	940	943
純資産合計	24,284	24,265
負債及び純資産合計	41,151	41,034

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	21,295	19,496
売上原価	17,542	16,325
売上総利益	3,753	3,171
販売費及び一般管理費	2,572	2,471
営業利益	1,180	699
営業外収益	92	129
営業外費用	105	104
経常利益	1,167	725
税金等調整前四半期純利益	1,167	725
法人税等	174	71
少数株主損益調整前 四半期純利益	993	654
少数株主利益	48	6
四半期純利益	944	647

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

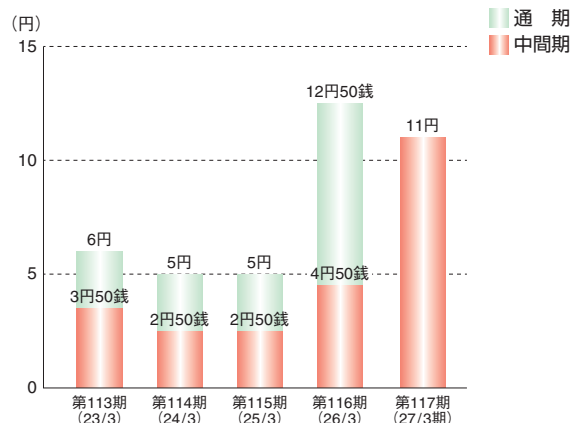
科 目	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ※1	1,729	549
投資活動によるキャッシュ・フロー ※2	△1,260	29
財務活動によるキャッシュ・フロー ※3	△325	101
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	19
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	122	700
現金及び現金同等物の期首残高	4,062	3,287
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,185	3,987

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※1 営業活動によるキャッシュ・フローとは営業活動で生じる現金収支を表します。
 ※2 投資活動によるキャッシュ・フローとは設備投資や出資といった投資活動で生じる現金収支を表します。

※3 財務活動によるキャッシュ・フローとは資金の調達・返済・配当金の支払いといった財務活動で生じる現金収支を表します。

配当金の推移



詳しい情報は当社のIRページへ

共和レーザー I R

検索

会社の概況

株式の状況

(平成26年9月30日現在)

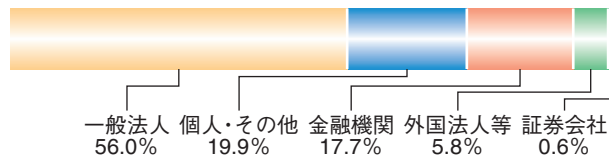
株式の総数

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	24,500,000株

株主数

3,709名

所有者別株式分布状況



大株主 (上位10名)

(単位:千株)

株主名	持株数
トヨタ自動車株式会社	8,360
豊田通商株式会社	1,554
林テレンプ株式会社	1,041
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	930
株式会社りそな銀行	862
K I S C O 株式会社	765
岩井澄子	419
住友化学株式会社	400
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	355
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	349

会社の概要

(平成26年9月30日現在)

設立	昭和10年8月
本社	静岡県浜松市南区東町1876番地
資本金	18億1,000万円
従業員数	604名(ほか臨時従業員220名)
主な事業内容	下記製品の製造、加工ならびに販売
車両用	内装用合成皮革、内装用成形複合材
壁装用	建築用壁装材
産業資材用	鋼板・合板用化粧フィルム、加飾フィルム
家具・履物 雑貨用	家具用合成皮革、靴履物用合成皮革、 雑貨用合成皮革

事業所

(平成26年9月30日現在)

本社	技術センター	QAセンター	東京営業所
大阪営業所	天竜第1工場	天竜第2工場	新城工場
福田工場	浅羽工場		

役員

(平成26年9月30日現在)

取締役社長	宮山 林 克 行
取締役副社長	山崎 賀 浩
専務取締役	須賀 江 隆
専務取締役	堀 平 義
常務取締役	瀬 崎 定 省
取締役	藤 坂 和 陽
取締役	増 田 義 司
取締役	川 畑 雄 聡
取締役	澤 根 弘 義
取締役	大 石 展 直
取締役	中 村 利 義
取締役	天 野 利 紀
常勤監査役	横 堀 洋 一
監査役	増 井 敬 二
監査役	平 井 鉄 泰
監査役	磯 部 平 磯 郎 夫

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
配当金受領株主確定日	期末配当金：3月31日 中間配当金：9月30日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人および 特別口座口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(通話料無料)0120-232-711
公 告 掲 載 方 法	電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。 http://www.kyowale.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所市場第一部

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

